

一般社団法人 千葉県理学療法士会 NEWS



2021年2月
第214号

もくじ

報 告	2
各部局士会活動案内・報告	3
INFORMATION	7
編集後記	9



URL : <http://www.chiba-pt.org/>

県士会ニュース代表メールアドレス : beekun.sai@gmail.com

◆ ニュース原稿メ切 ◆

No.215 4月号 (3月下旬～4月上旬着) メ切 2月20日
No.216 6月号 (5月下旬～6月上旬着) メ切 4月20日
No.217 8月号 (7月下旬～8月上旬着) メ切 6月20日

No.218 10月号 (9月下旬～10月上旬着) メ切 8月20日
No.219 12月号 (11月下旬～12月上旬着) メ切 10月20日
No.220 2月号 (1月下旬～2月上旬着) メ切 12月20日

◆報 告◆

緊急事態宣言発出を目前とした今

一般社団法人千葉県理学療法士会
会長 田 中 康 之

本稿を執筆している今、1月7日。正に千葉県にはCOVID-19に関する緊急事態宣言が発出される目前です。社会がざわついているこの数日間、私自身も気持ちが荒んでいます。このニュースがお手に取られるときには少しでも社会が落ち着いていることを祈るばかりです。

COVID-19に翻弄される日々は、残念ながら本年も継続してしまうでしょう。県民の皆様を支えている会員そしてご家族の皆様がまず安全に安心して暮らしていただけることを祈念しております。

さて、令和3年度は県士会費を減額することとしました。理事会で議論を行い臨時代議員総会で承認をされました。当初、他県士会で多く議論されているように単年度少し大きな金額を減額する案もありましたが、最終的には1,000円減額し、会費を9,000円にすることとしました。但し、令和3年度の事業遂行状況を鑑みたと、その減額を3年間継続し、さらに令和5年度の時点でその減額の継続の判断をすることといたしました。

理想は大きく長い減額ではありますが、今後の県士会

運営を考えた場合、大盤振る舞いをして直ぐに軌道修正する朝令暮改ではよろしくないと考え、細く長く堅実に減額をできる方法を選択しました。ご理解の程よろしくお願いいたします。

さらに、次年度からシニア割りの制度も導入いたします。これは協会の制度に準じる形です。但し、今後の会員の年齢構造等を予測したところ、これについても5年間実施した上で制度の是非を見直すことといたしました。

また、3月7日（日）には第25・26回合同県士会学会がオンラインで開催されます。オンライン学会は初めての試みですので、竹内学会会長をはじめ実行委員の皆さんが試行錯誤を繰り返し、準備をされております。

オンラインなので熱量を感じられない寂しさはありますが、一方で開催場所や拘束時間によって参加できなかった方でも自宅から参加が可能ですので、今までではない新しい学びの場として積極的に皆様にご参加いただきたいと思います。参加費もこれまでより減額し、より多くの皆様にご参加いただけるようにしております。

確かに目の前の危機としてCOVID-19があります。しかし、これを機として新しい取り組みを重ね、今までとは一味も二味も違うより良い県士会を構築していきたいです。皆様、本年も是非ご協力の程よろしくお願いいたします。



❖各部局士会活動案内・報告❖

📦学術局報告

学術局担当理事 局長 藤 井 顕

日本理学療法士協会では、「新人理学療法士職員研修ガイドライン」が発行されました。日本理学療法士協会ホームページ→「生涯学習」→「新人理学療法士の教育・研修を担当する方へ」にて確認することが可能です。本ガイドラインは、各職場内での新人理学療法士職員研修に役立つとともに、新生涯学習制度では、本ガイドラインを用いた前期研修（D：実地研修）が実施されます。

新生涯学習制度に向けてご確認いただけますよう、宜しくお願い申し上げます。

来年度の新人教育プログラムの受講について

学術局企画運営部 部長 小林 好信

2022年度から新生涯学習制度の開始に伴い、来年度末にシステム変更が行われます。そのため、参加した研修会の単位が反映されるのは、2021年度12月までの研修会となります。新人教育プログラムが未修了の方は、来年度12月までに単位を修得されることを推奨いたします。新人教育プログラムは、県士会主催研修会のほか、e-learningによる受講も可能です。情報収集を行い、計画的な履修をお願い申し上げます。

学術局研究支援部より

学術局研究支援部 部長 稲垣 武

今年度の「PTの研究力を高める研究支援セミナー」は、県士会のWEBシステムを導入し、オンラインにて開催しております。9月から開始したセミナーも（2020年12月時点で）既に3回が盛会に終了しました。

第4・5・6回は、2021年1月24日、3月14日、3月28日に開催予定です。「魅せる学会発表のプレゼンテーションの方法」、「採用に導くための論文作成・投稿方法」をテーマにしております。

本セミナーは、千葉県士会員限定で無料です。また、今年度は全てWEB開催ですので、気軽にご参加いただける点も大きな利点です。

今後も皆様の研究活動に役立つようなセミナーを企

画して参りますので、県士会ホームページ等を適宜ご確認ください、ふるってご参加ください。

千葉県士会活動へのご協力登録について

学術局管理部 部長 伊藤 新

県士会の研修会をはじめとして、様々な活動に関してご協力頂ける会員を募り、各部局・委員会・ブロックなど県士会内で情報を共有し多くの会員が県士会活動に参加できる体制作りを推進していきたいと考えております。千葉県理学療法士会のホームページの登録フォームからご登録いただけますよう皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

📦職能局報告

職能局担当理事 局長 工藤 誠
介護保険部 部長 大塚 剛

原稿を書いている現在は、2020年から2021年に移行変わろうとしているところです。コロナ第3波の影響を受け、心休まらない年の瀬を迎えているところです。

とはいえ時間は動いております。年度が改まれば、介護保険改定が実施されます。

そこで、以下からは介護保険部 大塚部長からの報告です。

千葉県理学療法士会会員の皆様、介護保険部長の大塚です。

新型コロナウイルスの対策については、日常から非常にご努力されていることと思います。

介護保険関連については、引き続き今秋冬も厚労省よりCOVID19関連（主に感染予防対策）の事務連絡（QA）が発出されています。

さらに令和3年4月の報酬改定関連の通知等も発出され始めますので合わせてこまめにご確認ください。

なお、介護保険の業務相談は下記のアドレスまでお願いいたします。

⇒ chibaptkaigo@yahoo.co.jp

第2回全国都道府県士会学校保健・特別支援教育担当者会議東日本地区会議に参加して

業務推進部 松尾 洋

令和2年11月15日にWeb会議形式で行われた、第2回全国都道府県士会学校保健・特別支援教育担当者会議東日本地区会議に参加した。

学校保健分野で理学療法士の関わりとして鳥根県でのモデル事業の紹介があった。運動器検診に整形外科医とチームを組み、検診後に理学療法士がストレッチやトレーニングを指導するというものであった。多職種との関わりが多く、理学療法士が学校保健に参入していくには多職種団体との連携や協議が重要とのことが述べられた。

特別支援教育では各都道府県で様々な取り組みがなされているが、協会としては特別支援教諭の免許を取得した理学療法士を養成し、教員として特別支援学校に参入していく方向性で動いていきたいと考えており、養成校教育での教職免許の取得や大学院教育での取得などを検討していくとのことであった。

グループワークでは各都道府県での取り組みの情報共有を行った。モデル事業として行っている都道府県以外では、学校保健も特別支援教育も個人レベルでの関わりになってしまっている現状があり、士会や協会がどのようにサポートしていくのが今後の課題として挙げられた。

千葉県でも同じような状況であり、千葉県内でも運動器検診にサポートとして介入している例があるのかどうかの調査を行っていききたい。特別支援分野では、まずはかかりつけの理学療法士が学校教員との連携を図っていくことが重要であり、特別支援教育に関わっている理学療法士を県士会が把握する必要性を感じた。

♪ワークライフバランス部便り♪

WLB部 天田 裕子

2020年9月30日(水)「日本健康会議2020」が開催され(実行委員として半田一登理学療法士協会長が参加)、「健康なまち・職場づくり宣言2020(8宣言:上図参照)」の目標達成率として、その達成状況と5年間の成果が発表され、全国的に各宣言の達成度が大きく向上し、多くの宣言が目標を達成したと報告されました。しかし千葉県では、宣言1は58%、宣言2は

71%とまだ低く、理学療法士が運動に関する保健指導等を行う専門職として貢献できるよう模索・検討が必要な状況だと改めて感じる結果でした。

これを受け、自分たちの暮らす千葉県の健康寿命が延伸できるように、自分事としてみんなで取り組めると良いなあと思います。そしてもう一つ、宣言6の「加入者自身の健康を分かりやすく提供する保険者を原則100%とする。その際、情報通信技術(ICT)等の活用を図る」が千葉県は67%と低く、その内訳はICTの活用ができていない理由ではなく、特定健康診断の実施率自体の低さも要因の一つになっているとのことでした。

健康なまち・職場づくり宣言2020	
宣言1	予防・健康づくりについて、一般住民を対象としたインセンティブを推進する自治体を800市町村以上とする。
宣言2	かかりつけ医等と連携して生活習慣病の重症化予防に取り組む自治体を1500市町村、広域連合を47団体とする。その際、糖尿病対策推進会議等の活用を図る。 *2019年度より 目標を600市町村から1500市町村に、24広域連合から47広域連合に上方修正
宣言3	予防・健康づくりに向けて47都道府県の保険者協議会すべてが、地域と職域が連携した予防に関する活動を実施する。
宣言4	健保組合等保険者と連携して健康経営に取り組む企業を500社(法人)以上とする。
宣言5	協会けんぽ等保険者や商工会議所等のサポートを得て健康宣言等に取り組む企業を3万社以上とする。 *2018年度より 目標を1万社から5万社に上方修正
宣言6	加入者自身の健康・医療情報を本人に分かりやすく提供する保険者を原則100%とする。その際、情報通信技術(ICT)等の活用を図る。
宣言7	予防・健康づくりの企画・実施を提供する事業者の質・量の向上のため、認証・評価の仕組みの構築も視野に、保険者からの推薦等一定の基準を満たすヘルスケア事業者を100社以上とする。
宣言8	品質確保・安定供給を図りつつ、すべての保険者が後発医薬品の利用促進など、使用割合を高める取り組みを行う。

私たち理学療法士の働く環境では比較的实施率は高いことが推測され、特定保健指導だけでなく、人間ドックの助成などがある職場も多いのではないかと思います。しかし、保健指導を受けて医療機関の受診や、人間ドックを受けられている人は少ないのではないのでしょうか。家族のため、研修や勉強のためなど、有給は使っていても、男女問わず自分の体を思いやるための休暇はなかなか取れていないのでは?と思います。心身ともに健康であることが良い仕事につながる。「ワークライフバランス」を見つめ直し、これからは理学療法士として活躍できるよう頑張っていきたいと思います!

第25-26回合同千葉県理学療法士学会 関連報告③

2021.3.7 ~ 不易流行 ~

学会広報局 齋藤 龍祐

いよいよ学会当日が近づいてきました。今回は各講演およびシンポジウムの内容と当日ライブ配信、オンデマンド配信の日程をご紹介します。

■基調講演（9：00～10：00）

50年先、価値ある理学療法士であるために
～今、我々に求められること～
村永信吾（亀田メディカルセンター）

■特別講演（13：30～14：30）

2025年に向けた理学療法の展望
～新生涯学習制度の意義から考える～
斉藤秀之（公益社団法人日本理学療法士協会）

■シンポジウム1（10：10～11：40）

海外での活動から私が出たもの：
若いみなさんへのメッセージ
コーディネーター
鵜澤吉宏（亀田総合病院）
シンポジスト
黒岩良太（千葉大学医学部附属病院）
勝田温子（東京女子医科大学八千代医療センター）
牧原由紀子（国際医療福祉大学）

■シンポジウム2（11：50～13：20）

COVID-19に対する理学療法の実際と県士会の役割
コーディネーター
田中康之（千葉県千葉リハビリテーションセンター）
シンポジスト
古川誠一郎（千葉大学医学部附属病院）
今井正太郎（千葉大学医学部附属病院）
高梨敏弘（いすみ医療センター）

■シンポジウム3（14：40～16：10）

これからの卒後教育に向けて：
当院で実践する新人教育システム
コーディネーター
高杉 潤（東都大学）
シンポジスト
丸山貴美子（千葉大学医学部附属病院）
池田一樹（亀田総合病院）
石崎 亨（西川整形外科）

■シンポジウム4（16：20～17：50）

医療介護連携の現状と課題：
切れ目のないリハビリテーションを目指して
コーディネーター

森田悠介（九十九里病院）

シンポジスト

坂本和則（千葉大学医学部附属病院）
橋本 典（おゆみの中央病院）
押尾雅彦（フェルマータ船橋）
外口徳章（さかいりハ訪問看護ステーション）

■教育講演（オンデマンド配信）

- ①運動器 画像検査から解決できた見逃すことのできない難渋症例：
西川整形外科リハビリカンファレンスから
杉浦史郎（西川整形外科）
- ②神経 片麻痺症状を呈している中枢神経麻痺に対する歩行アプローチ：
理学療法士がしなければならない運動療法
谷内幸喜（城西国際大学）
- ③内部 リハビリテーションに役立つ呼吸生理
高田順子（東京ベイ・浦安市川医療センター）
- ④地域 地域・在宅でのリスク管理に役立つフィジカルアセスメントの活用術
平野康之（東都大学）
- ⑤教育 Postコロナを見据えての臨床実習教育
薄 直宏（東京女子医科大学八千代医療センター）
- ⑥基礎 ニューロリハビリテーションの基礎知識と応用
村山尊司（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

*講演内容は都合により変更となる可能性がありますので予めご了承下さい。

今年も各領域のスペシャリストが集まりました。これまで豪華な講師陣が集まることはなかなかありません。なお、基調講演・特別講演およびシンポジウムはライブ配信のみ、教育講演・一般演題はオンデマンド配信のみとなります。当日参加出来なくても時間があるときにゆっくり視聴することが出来ます。

皆様の参加をお待ちしております。

最後に学会準備委員会を紹介させていただきます。

◆学会長

竹内弥彦（千葉大学医学部附属病院）

◆副学会長

村田量優（メディケア51）

◆準備委員長

高橋 聡 (藤リハビリテーション学院)

◆運営局

局長

島田総司 (しらさと整形外科)

運営局委員

高梨敏弘 (いすみ医療センター)

相談役

森田悠介 (九十九里病院)

◆学術局

局長

高杉 潤 (東都大学)

学術局委員

桑江 豊 (城西国際大学)

藤井 顕 (藤リハビリテーション学院)

榎尾英之 (訪問看護ステーションあすか)

相談役

江戸優裕 (千葉県立保健医療大学)

◆事務局

局長

外口徳章 (さかいリハ訪問看護ステーション)

事務局委員

奥村龍之 (千葉県理学療法士会 事務局)

相談役

太田直樹 (千葉県千葉リハビリテーションセンター)

◆広報局

局長

大曾根厚人 (訪問看護ステーション優輝)

広報局委員

臼杵 寛 (アクアリハビリテーション病院)

保科憲幸 (千葉みなとりハビリテーション病院)

斎藤龍祐 (安房地域医療センター)

相談役

三好主晃 (アクアリハビリテーション病院)

学会HP



学会Facebook



❖ INFORMATION ❖

第6回一般社団法人千葉県理学療法士会役員選挙立候補者

令和2年11月12日に立候補者を締め切り下記の方々が立候補されています。
令和3年6月に開催予定の総会にて承認を図ります。

理事

- | | | |
|----|-------|--------------------|
| 1 | 藤井 顕 | 藤リハビリテーション学院 |
| 2 | 森田 悠介 | 九十九里病院 |
| 3 | 藤川 孝彦 | 国際医療福祉専門学校 |
| 4 | 田中 康之 | 千葉県千葉リハビリテーションセンター |
| 5 | 渡辺 政基 | 特別養護老人ホーム上総園 |
| 6 | 竹内 弥彦 | 千葉大学医学部附属病院 |
| 7 | 小林 好信 | 中西整形外科 |
| 8 | 桑江 豊 | 城西国際大学 |
| 9 | 児玉 美香 | 国保直営総合病院君津中央病院 |
| 10 | 三和 真人 | 千葉県立保健医療大学健康科学部 |
| 11 | 西田 裕介 | 国際医療福祉大学成田保健医療学部 |
| 12 | 外口 徳章 | さかいりハ訪問看護ステーション・船橋 |
| 13 | 松田 徹 | 亀田メディカルセンター |
| 14 | 高橋 聡 | 藤リハビリテーション学院 |
| 15 | 中村 亮太 | 五香病院 |
| 16 | 榎尾 英之 | (有)リハビリ健康社 |
| 17 | 松川 基宏 | 船橋市役所 |
| 18 | 小川 明宏 | 東邦大学医療センター佐倉病院 |
| 19 | 薄 直宏 | 東京女子医科大学八千代医療センター |
| 20 | 草木 雄二 | 船橋整形外科病院 |
| 21 | 山岡 郁子 | 藤リハビリテーション学院 |
| 22 | 高杉 潤 | 東都大学 |

監事

監事の立候補者はいませんでした。

(受付順・敬称略・会員登録上の所属となります)

一般社団法人千葉県理学療法士会 選挙管理委員会委員長 内村 元

第3回千葉県理学療法士会代議員選挙について

第3回千葉県理学療法士会代議員選挙は、令和2年11月12日立候補を締め切り、立候補者55名でした。選挙要綱により投票は行われず55名の立候補者は当選となります。

また、定数を満たしていないため選挙要綱により補充の代議員（5～45名）の推薦を理事会へ依頼しました。

理事会推薦の代議員が決まりましたら、立候補者、推薦者をもって第3回千葉県理学療法士会代議員の当選者として千葉県理学療法士会ホームページにて公表いたします。

一般社団法人千葉県理学療法士会 選挙管理委員会委員長 内村 元

「障害児に対するリハビリテーション実施状況調査」の情報更新と新規掲載について

公益事業局 障がい児・者支援部部长 高木秀明

当部では、2016年度の千葉・東葛南部ブロックの調査から4年間で千葉県内における全9ブロックに対して表題の調査を実施いたしました。調査結果は当士会ホームページ内の公益事業局ページ(<https://www.chiba-pt.or.jp/pg379550.html>)に掲載されていますのでご活用ください。

初回調査から4年の月日が経過し、各施設様におかれましても情報更新が必要な点があるかと思えます。つきましては、過去の調査にて障害児に対するリハビリを実施されているとご回答いただきましたご施設様には情報更新のご案内を郵送しておりますのでご回答をよろしくお願いいたします。

また、「新規」で障害児に対するリハビリを実施されたご施設様や新たに掲載等にご協力いただけるご施設様は、QRコードからご連絡いただけますと幸いです。



今後とも当部の活動にご理解・ご協力よろしくお願いいたします。

(窓口) 千葉県理学療法士会障がい児・者支援部 担当：高木
メール：cpta.syogaishien@gmail.com

ハラスメントはNO！

当士会ではハラスメント対策を進めています。

1. 会長メッセージ発信中

「ハラスメントはノーです。県士会は、中立の立場を守りながらもハラスメントは断固許しません。そのための仕組みづくりを進めます。皆さん、是非今一度、自分の行動を振り返っていただければと思います。」

2. ハラスメントとは何かを知る！

昨年度は管理者向けに管理者ネットワーク推進委員会と一緒に研修会を開催致しました。今回は会員皆様も大変な中の活動となりますが、ハラスメントとは何かを知ることで、働きやすい職場づくりのヒントをwithコロナ時代に向けて発信していきます。

職能局業務推進部&ハラスメント対策委員会主催

～ハラスメント防止WEB研修会 入門編～

日 時：令和3年3月14日(日) 10:00～11:30

申 込：QRコードを読み取りフォームか

講 師：公益財団法人21世紀職業財団講師 清水知子氏

ら申し込んでください。

対 象：千葉県理学療法士会会員 先着50名

(申込締切2月28日)

参加費：無料

問合せ：fujireha-yamaoka@narita-hospital.jp



3. 悩んでいたら窓口へ相談してみよう！

まずは職場の相談窓口にご相談してみてください。

また、一般的な窓口は士会ホームページでも紹介しています。

- 厚生労働省ホームページ内 あかるい職場応援団相談窓口のご案内
- 千葉県労働相談センター
- NPOナア（アカデミックハラスメントをなくすネットワーク）

ハラスメント対策委員会

❖ 編集後記 ❖

●今後の県士会ニュースについて

ニュース編集部 部長 纈 纈 琢 磨

寒い日が多くなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。ニュース編集部 部長の纈纈です。会員の皆様いつも県士会ニュースをご覧いただきありがとうございます。

さて、今回のニュースの冒頭に緊急事態宣言発出を目前とした今とありましたが、皆様も職場や私生活でも感染症対策を十分におこないながらの生活が続いていることと思います。

昨年の今頃はまだCOVID-19への関心も薄く、皆様も今の様な状況が訪れるとは思いませんでした。

まさかこの様な状況になり、こんなに生活が窮屈になるとは、私自身も思いもしませんでした。これから

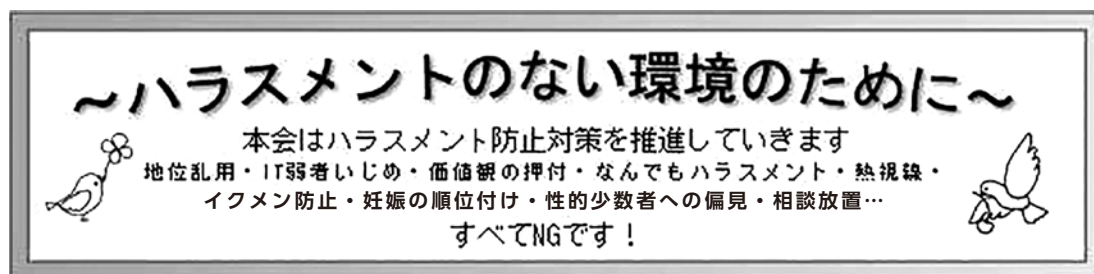
日本をはじめ世界各国がどの様になって行くのか想像もできません。その様な中でも1月8日の1都4県の緊急事態宣言が発出された日に、日本国内の日経平均株価がバブル崩壊後30年ぶりに2万8,000円代の高値を付けたとのこと。

これから、COVID-19との共存と経済の回復がはかられて行くのかと期待もありますが、まだまだ不安な時期が続きます。

会員の皆様も今後もCOVID-19対策を続けながらの仕事と私生活が続きますが、今までと同様に患者様や利用者様、地域の為に理学療法士として、どの様に貢献できるか。どの様に活躍できるか。色々と考え楽しみながら頑張っていきましょう!!

最後になりますが、つたない文章を最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

次回のニュース原稿の締め切りは
令和3年2月20日です!



問い合わせ先

- 千葉理学療法士会ホームページ
<http://www.chiba-pt.org/>
- 求人広告のお申込・お問い合わせ
chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp
- ニュース編集部
部長 纈 纈 琢 磨
t.kouketsu@asunargroup.com

※当県士会ニュースの無断転載・引用はかたくお断りいたします

発行人 田 中 康 之

発行 一般社団法人 千葉県理学療法士会
事務局

〒260-0013 千葉市中央区中央1-11-1
千葉中央ツインビル1号館1005号室
Tel 043-301-3065/Fax 043-301-3066
(電話対応の詳細はHP参照)

Mail chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp

編集部 部長 纈 纈 琢 磨

医療法人社団 君津あすなろ会
小見川あすなろクリニック

〒289-0314 千葉県香取市野田280-1
Tel 0478-79-5683/Fax 0478-79-5684
Mail t.kouketsu@asunargroup.com